

遊水地の自然を活用し、福祉、医療、地域、教育、企業、行政の連携で障がい者の自立支援の場に

人と自然の調和を目指し 動き出した「ベーター麻機」



静岡市の麻機遊水地第3工区で、ドイツの福祉都市ベーターをモデルとして「障がい者が自立し、夢を持てる場所」を作ろうという活動が始まっています。麻機の自然再生と地域の活性化を同時に図ろうという動きに、福祉、医療、地域、教育関係、企業、行政が賛同。今までにない連携体制で、誰もが生きがいや誇りを持って暮らせる共存社会の実現を目指しています。

「ベーター」とは？

ドイツのビューレフェルト市にある町。各種病院や老人ホーム、特別支援学校などがあり、約1万4000人の医療従事者がいる。医療と福祉が機能的に行われ、「施しよりも仕事を」という方針で町づくりを目指し、障がいを持つ人も老人もさまざまな仕事に就くことができる。

麻機遊水地の新しい可能性

麻機遊水地の新しい可能性を提案しようと、昨年の秋から活動が始まった「ベーター麻機部会」の副会長として活躍する「一般社団法人モリス」代表理事の清水光弘さん。これまでの経緯を伺いました。
「モリスは、障がい者の就労支援を行っている団体です。この地域には、病院や養護学校、流通センターなど、さまざまな施設があります。ヒアリングのなかで、障がい者人たちの就労が難しい状態です。しかし、お互いに協力することで、すべての問題が解決するのでは」と、新しい共存社会の実現を目指します。

そのヒントとなったのが、ドイツの都市ベーターだ。そこでは、ヤンマーの協力が、



昨年の夏は、ヤギによる除草も実施。てんかん病院で、子供たちに大人気のヤギ



静岡葵ライオンズクラブほかによる記念植樹

「遊水地が再生すれば、観光地にもなり、人が来ればショッピングや宿泊の需要も増えます。ここから発展して、一つのモデルコミュニティを作りたいですね」と、展望を語りました。

物が出てきて、野鳥や昆虫も生息できる環境になることが見込まれます。まずは、第3工区に1haの麻機の原風景を作ることから始めようと思っ

いろいろな形で自然と人が関わっていきける場所に

ベーター麻機部会副会長 久保田英幹さん

昨年9月に麻機遊水地自然再生協議会から派生して発足した「ベーター麻機部会」。部会長で静岡てんかん・神経医療センターの統括診療部長・久保田英幹さんに、部会の活動について伺いました。
「遊水地の整備と同時に、医療、福祉を軸にした町おこしをしたいという思いがあります。しかし、会としては動き始めたばかり。まずは、多くの人に麻機遊水地を知ってもらいたいですね。皆さんに手を貸してもらって、いろいろな形で自然と人が関わっていきける場所にしたいと考えています」
※部会では、一緒に活動してみたいという個人、団体、企業を募集しています（下記参照）



プロフィール / 1982年東京大学医学部卒業。東京女子医科大学病院、東京都八王子小児病院、東京都立神経病院で小児科、小児神経科、神経内科を研修。1988年より静岡てんかん・神経医療センターに勤務

【ベーター麻機部会取り組み内容】

- ・麻機遊水地の自然再生や地域活性化のための仕組み作り
- ・活動フィールドやコミュニティーの場、治療やリハビリ、就労の場の創出
- ・環境教育の場、職業訓練の場の創出
- ・農業や文化、風習の継承、将来の地域の農業を担う人材育成の場を創出
- ・上記活動や自然とのふれあいに伴い、社会的孤立を防止

入会の問い合わせ：静岡県静岡土木事務所
☎054(286)9363

■麻機遊水地自然再生協議会ホームページ：<http://asabata.org/>



「静岡流通センター春の大感謝祭」 「第2回麻機遊水地フェスタ」

今年、「地元と一体」をテーマに開催される「静岡流通センター春の大感謝祭」。例年よりボリュームアップした内容で、子どもから大人まで1日楽しめます。「第2回麻機遊水地フェスタ」も同時開催！

- ◆日時：3月15日(日)、午前9時～午後4時 ※雨天決行
- ◆会場：静岡流通センター Aブロック・麻機遊水地
- ◆流通センターイベント(メインステージ司会：久保ひとみ) アンドーひであきライブ、妖怪ウォッチ「ジパニャンバラエティショウ」、静岡チアリーディングBUDDY'S、静岡県立駿河総合高等学校和太鼓部演奏、即売会、こども縁日、流通モーターショウ、ちびっこ広場ほか(詳しくはホームページで)
- ※静岡市と静岡県静岡土木事務所が連携して「防災」「治水」に関するパネル展を開催。来場者には、おみやげが用意されています
- ◆麻機遊水地フェスタ
遊水地自然学習スタンプラリー、カヌー体験、沼の生き物お宝探し

【問い合わせ】
協同組合 静岡流通センター事務局
☎054(263)2000
※午前8時30分～午後5時30分
ホームページ：<http://www.shizuokaryutsu.or.jp/>

静岡トヨペットの取り組み

地元で生き、地域に役立つ企業でありたい ベーター麻機の趣旨に賛同し協力

「お客さまにお車をお届けするだけでなく、地元で生き、地域に役立つ企業でありたい」との理念から、社会貢献に力を注いでいる静岡トヨペット。男女共同参画の推進や地元のさまざまなNPOに対しての支援をはじめ、各店舗に「犯罪被害者支援募金箱」を設置、集まった募金の寄付などの活動を行っています。昨年6月～12月で16万円以上の寄付を集めることができました。また昨年、「ベーター麻機部会」の趣旨に賛同し入会。長いスパンで協力することを決定しました。
ハイブリッド車を1台販売することに売上金の一部を積み立てている。3月15日(日)に開催される「麻機遊水地フェスタ」では、午前10時から、同社が、てんかんセンターの贈呈式が行われ、また、農園で種いも植え付け、植樹も実施されます。
今後は、麻機遊水地第3工区の農園の一部を新入社員が教育の一環として、農地整備などを行っていきます。また、作物の世話や収穫の際には、顧客や地域の人たちを招き、自然と触れ合える場にする企画もあるそうです。



静岡トヨペットの社屋フロアで開催された、静岡北特別支援学校生徒の作品展



静岡トヨペットが取り組む「しずおか未来の森サポーター」の活動では、親子で植樹をする姿もみられた

静岡のお客さまと共に育む。

女性スタッフによる女性のための特別仕様車

女性に嬉しいパッケージを付けてお得な1台にしました。

絶賛発売中 AQUA

Porte

Ractis

※詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

New 70%オフ

Rising Sun プロジェクト ~Dear Princess~

全ての女性の心に残る店舗づくりを静岡の女性の皆様と一緒にすすめていきたいという思いで発足したプロジェクトです。

女性のお客様に喜んでいただけるイベントやセミナーを計画中です。お楽しみに！

緑の店舗10年計画

いちばん身近な緑のオアシスを地域の皆様とともに育てていきます。

絆プロジェクト

消防活動やお祭りなど、地域の一人として様々なイベントに参加する社員を応援します。

NPO犯罪被害者支援

NPO法人「犯罪被害者支援センター」様の活動サポートの一環として、各店舗に「犯罪被害者支援募金箱」を設置しました。